

御殿場市制施行70周年記念事業

市制施行70周年を祝う

第九 演奏会

指揮者:横山 奏

管弦楽:富士山静岡交響楽団

合 唱:「市制施行70周年を祝う第九演奏会」合唱団

【第1部】

ベートーヴェン
「コリオラン」序曲

【第2部】

ベートーヴェン
交響曲第9番二短調「合唱付き」

ソプラノ
渡邊 とも子

メゾソプラノ
高村 清子

テノール
勝又 晃

バリトン
初鹿野 剛

2025
12/27(土)

開場/13:00 開演/14:00

御殿場市民会館 大ホール

静岡県御殿場市萩原183-1

入場料 指定席 前売券:2,500円 【当日券:3,000円】

自由席 前売券(一般):1,500円【当日券:2,000円】

(高校生以下:700円《70席まで》)

*車いす席有(事前にご予約ください) *未就学児のご入場はご遠慮ください。

プレイガイド:御殿場市民会館 TEL 0550-83-8000《会館休館日は販売いたしません。》

【チケット発売開始】11月2日(日)9:00~

主催:「市制施行70周年を祝う第九演奏会」実行委員会・御殿場市

後援:御殿場市文化協会

問い合わせ先:御殿場市教育委員会社会教育課 TEL 0550-82-4319 e-mail/shakyo@city.gotemba.lg.jp

出演者紹介

指揮者 横山 奏

1984年札幌市生まれ。北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コースを卒業後、桐朋学園にて学び、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。指揮をダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に師事。打楽器を真貝裕司氏に、声楽を桑野敏明、雨貝尚子の各氏に師事。2017年 WMC Kerkrade 指揮者コンクール第3位。2018年第18回東京国際音楽コンクール第2位と聴衆賞を受賞。これまでに札幌、仙台フィル、山響、都響、読響、新日本フィル、日本フィル、東京フィル、東京シティフィル、東京佼成ウインド、シエナウインド、神奈川フィル、静響、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、大響、オオサカ・シオン、兵庫 PAC、広響、九響などと共演を重ねている。2015-2017年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。2019年北海道二期会創立55周年記念「レオンカヴァッロ：道化師」を、2021年田尾下哲演出「パースタイン：キャンディード」を指揮し大成功に導いている。

管弦楽 富士山静岡交響楽団

2020年11月、いずれも NPO 法人であった静岡交響楽団（創立1988年）と浜松フィルハーモニー管弦楽団（創立1998年）が合体、2021年4月より一般財団法人「富士山静岡交響楽団」となり、静岡県内唯一の常設プロオーケストラとして県下広域に演奏活動を拡大。2022年4月には公益財団法人の認可を受け、財政基盤の強化と更なる演奏力の向上に傾注した。こうした活動が評価され、2024年6月に公益財団法人日本オーケストラ連盟 正会員に承認された。

楽団の発展とともに、県外での公演にも積極的に取り組んでおり、2020年12月および2024年2月には東京特別公演を開催。いずれも、その高い演奏水準が評価された。また、2025年2月には楽団初となる CD をリリースし、活動の幅をさらに広げている。

2018年から高関健氏がミュージックアドバイザーとして参画、2021年からは首席指揮者として楽員からの信頼を受け、共に静岡県の音楽文化向上を目指している。定期演奏会、企業協賛特別演奏会を始め、まちかどコンサート、病院・老人福祉施設・こども園などへのアウトリーチ、また学校向けの音楽鑑賞教室など、活動を展開。名実ともに静岡県を代表するオーケストラとして地域の音楽文化の普及と向上に貢献している。



ソプラノ 渡邊 とも子

日本大学芸術学部音楽学科声楽コース卒業。卒業演奏会に出演。同大学研究科修了。日本オペラ協会主催コンサート、21世紀に期待される音楽家のタベに出演。パッハカンタータ、ベートーヴェン「第九」ソリストを務める。オペラでは、「フィガロの結婚」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」、伊豆市民オペラ公演「朝顔」、「垣廬」に出演。その他、リサイタル、陸上自衛隊富士学校音楽隊との共演、Mt.Fuji 交響楽団との共演。教会、沼津芸術祭、沼津御用邸などでのコンサートを行う。また、二胡奏者張鶴氏と、富士、裾野、御殿場にてコンサートを開催。2012年東京文化会館にて、末芳枝声楽研究会〜演奏会〜に出演。又、2024年1月御殿場市民会館大ホールでは初めてとなるオペラ「カルメン」を成功に導いた。宝塚OGとの共演。日本オペラ振興会、日本声楽発声学会、静岡県演奏家協会、御殿場市民オペラ会員。

メゾソプラノ 高村 清子

御殿場市古沢出身。市立高根中学校を経て県立小山高等学校卒業。武蔵野音楽大学声楽科卒業。卒業演奏会、同大学オペラ「魔笛」童子軍役に出演。日本オペラ振興会育成部修了。'04 イタリア・ヴィツェンツァにてオペラ研修に参加。'07 ブルガリアにてソフィア国立管弦楽団公演「フィガロの結婚」マルチエリーナ役に国際デビュー。「偽の女庭師」「椿姫」「カルメン」「仮面舞踏会」「こうもり」「ジャンニ・スキッキ」等の主要なメゾソプラノ役に出演。'09 ソロリサイタル開催。'10 ホテルオーベルジュ・ブランシュ富士にてディナーショー開催。シティFM静岡(76.9FM・Hi!)「Mrs.Radio (クワッコーナ)」にて県内で活躍する音楽家として紹介される。他に静岡交響楽団との共演や、小中学校での依頼コンサート等、全国多数の演奏会に出演。'13「富士の麓で歌う第九」アルトソリスト。'25 都内と御殿場にてリサイタルを開催、好評を博す。御殿場市民オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」「魔笛」「ジャンニ・スキッキ」等の主要役兼プロデュースを担う。これまでに阿川浩美、菊池英美、E・オブラストワ、W・ボレッリ、下原千恵子の諸氏に師事。現在練馬区在住。都内にてボイストレーナー、演奏活動を行う2児の母。

テノール 勝又 晃

御殿場生まれ。御殿場南小、御殿場中、日大三島高を経て国立音楽大学器楽科ホルン専攻卒業。ホルンを千葉馨氏に師事。在学中より田口興輔氏に師事し声楽を始める。田口興輔、故 中山純一、南條年章、松谷和紀、カルラ・ヴァンニニ各氏に師事。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。'90〜'93 渡伊。ミラノ音楽院にて研鑽を積む。第14回カンツォーネ・コンクール第2位。第19回イタリア声楽コンクール入選。イタリアオペラを中心に数々の公演に出演。2003/04 年 岡村善生総監督＝みんなのオペラ「蝶々さん」(飯守泰次郎 指揮)では2年連続ピンカートン役を、2005年 同オペラ「魔笛」(松尾菜子 指揮)ではタミーノ役を好演。海外ではイタリア、ジェノヴァ市にて国際船と海の博覧会コンサート、ロシア、サンクトペテルブルクにおける二期会国際交流コンサート、国内では都庁にて東京 OUR' S96、富士山国際音楽祭、長崎出島音楽祭、仙台クラシックコンサート等に出演する。2016年群馬交響楽団創立70周年記念事業オペラ「蝶々夫人」にピンカートン・ヴェルディ劇場 オペラ「アイダ」ラダメス役、2019年同劇場にてオペラ「イル・トロヴァトーレ」マンリーコ役に出演。

近年では2018年富士山の麓で歌う第九演奏会、2024年御殿場市民によるオペラ「カルメン」ドンホセ役に出演。自らが主催する映像と字幕によるわかりやすい演奏会「デュオコンサート」では東京と御殿場を隔年で開催中。海陽学園特任講師。

バリトン 初鹿野 剛

御殿場市茶黄沢出身。ヤマハ音楽教室等で音楽に親しむ。勉強や運動はそこそこに、御殿場南小では合唱クラブや金管クラブ、南中では吹奏楽や選択音楽等を通じて北駿音楽会に6年連続参加。小中を通じて校内音楽会や合唱コンクールでは伴奏や指揮を担当。音楽好きが高じて清水南高芸術科に進学。東京芸術大学、カールスルーエ音楽大学から修士号を授与される。文化庁派遣芸術家在外研修員。コンサートにおける交響曲・管弦楽曲・宗教曲の独唱者だけでなく、オペラの分野においてもドイツ主要音楽祭、日本では新国立劇場・日生劇場・兵庫 PAC・東京二期会等の各プロダクションで活躍。静岡音楽館 AOI「静岡の名手たち」第一回コンサート出演をはじめ、静岡県内でも御殿場、沼津、三島、富士、伊豆での第九、静響とのフォーレ(レクイエム)、浜松パッハや浜響、静フィル等との共演を行った。日本音楽コンクール入選、五島記念文化賞オペラ新人賞、藤沢オペラコンクール第一位ならびに堀永賞、松田トシ賞等受賞多数。常葉大学短期大学部などの非常勤講師を経て、2014年に愛知県立芸術大学に赴任、現在、同大学教授、二期会会員。

「市制施行70周年を祝う第九演奏会」合唱団

「あなたの歌声で70周年を祝いましょう。」の呼びかけに応えた、中学生以上の120名の合唱団です。合唱総指導及び女声パート(ソプラノ・アルト)を渡邊とも子先生、男声パート(テノール・バス)を秋田重夫先生に、そしてピアノは津田有紀さん、長谷川夢代さんをお願いしています。70周年記念事業の「フィナーレ」を飾るべく、計22回の練習を毎回楽しくかつ真剣に演奏会に向かって取り組んでいます。